

令和3年12月4日(土)

盛岡市遺跡の学び館

国史跡 盛岡城跡 第40次補足 第43次調査

— 史跡整備に伴う本丸地区の発掘調査 —

現地説明会

盛岡城は、旧北上川と中津川の合流点の丘陵地を利用して築かれた平山城です。

盛岡藩主初代 南部信直と2代 利直によって、慶長2年(1597)頃に築城が開始されました。およそその完成をみた寛永10年(1633)に3代藩主 重直が入城して以来、南部氏 20万石の居城となりました。

明治維新後、盛岡城は陸軍省の所管となり、明治7年(1874)に城内建物のほとんどは取り壊されました。その後、公園整備が進められ、明治39年(1906)に「岩手公園」として開園しました。また、往時をしのばせる雄大な石垣が良好に残されていることから、昭和12年(1937)に国史跡に指定されました。

盛岡市では、盛岡城跡の保存活用を図るため、平成24年(2012)に「史跡盛岡城跡整備基本計画」を策定し、史跡整備を進めています。本丸地区については、令和元年(2019)から発掘調査を実施しており、将来の史跡整備の資料とします。



紅葉の盛岡城跡本丸

◆ 盛岡城本丸

本丸の構造

本丸は、盛岡城の最重要施設の一つです。規模は、南北約70m・東西約67mで、北側は堀切をはさんで二ノ丸に面し、残り三方は腰曲輪に囲まれています。中央部分には、藩主の私的・執務空間である「本丸御殿」がありました。本丸各隅には櫓台があり、南東隅には「三階櫓（天守）」、南西隅には「二階櫓」、北東隅には「隅櫓」、北西隅には「小納戸櫓」がありました。本丸と二ノ丸との間に「廊下橋」が、東側に「御末門（本丸御門）」があり、出入りに使われました。また、二階櫓北側から「百足橋」という階段が下がっていました。

これらの建物のほとんどは、明治7年の払い下げの後に撤去されました。

三階櫓（天守）

本丸南東隅の櫓台には、三階構造の櫓「三階櫓（三重櫓）」がありました。寛永13年（1636）に、落雷による火災で焼失しますが、延宝4年（1676）に再建されます。

記録によれば、規模は、1階面積50畳（約81㎡）、高さ7間4尺6寸（14.8m）ほどであったようです。

再建後は、屋根に耐寒性が高く、見栄えのよい「赤瓦」が使われるようになり、「元禄16年普請伺絵図」でも赤瓦の使用が見て取れます。

三階櫓の名称は、築城当初は「三重櫓」と呼ばれ、延宝4年の再建後は「三階櫓」と呼ばれるようになりますが、天保年間以降は「御天守」と呼称されるようになりました。

◆ 盛岡城跡 第40次補足・第43次発掘調査成果

調査期間 令和3年11月18日～12月10日（予定）

調査場所 第40次補足調査 天守台

第43次調査 本丸南辺部

調査目的 ①天守台における建物基礎等の遺構の確認

②本丸南辺部における石土居の確認

調査面積 191㎡（天守台176㎡，南辺部15㎡）

検出遺構 天守台 江戸期石垣天端石，明治期石土居天端石，明治以降の四阿基礎

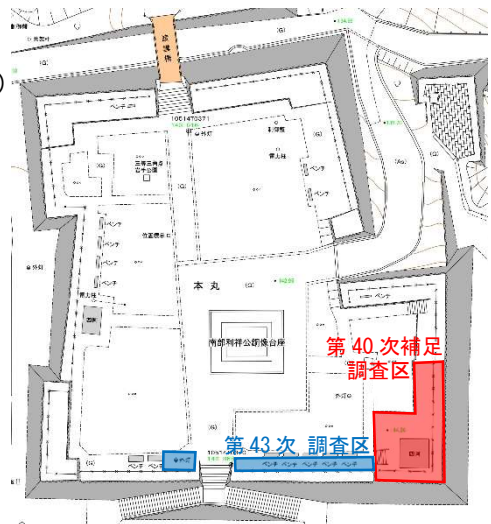
南辺部 江戸期石土居根石（2箇所）

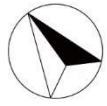
出土遺物 江戸期の軒平瓦，丸瓦，平瓦，陶磁器，古銭

調査成果

天守台 三階櫓の礎石等の建物基礎は確認されませんでした。天守台中央から南東よりの位置で、明治期の岩手公園開園時に設置された四阿と考えられる基礎跡が確認されました。また、北部の石土居に明治期に改変された箇所が確認されました。天守台周辺の明治期以降の改変のようすが判明しました。

南辺部 絵図によれば、本丸南辺には石土居がありました。今回の調査では、その石土居の確認を目的としました。結果、天守台階段下と調査範囲西側の2箇所において、石土居の根石を確認し、絵図とおりに石土居が存在していたことが判明しました。





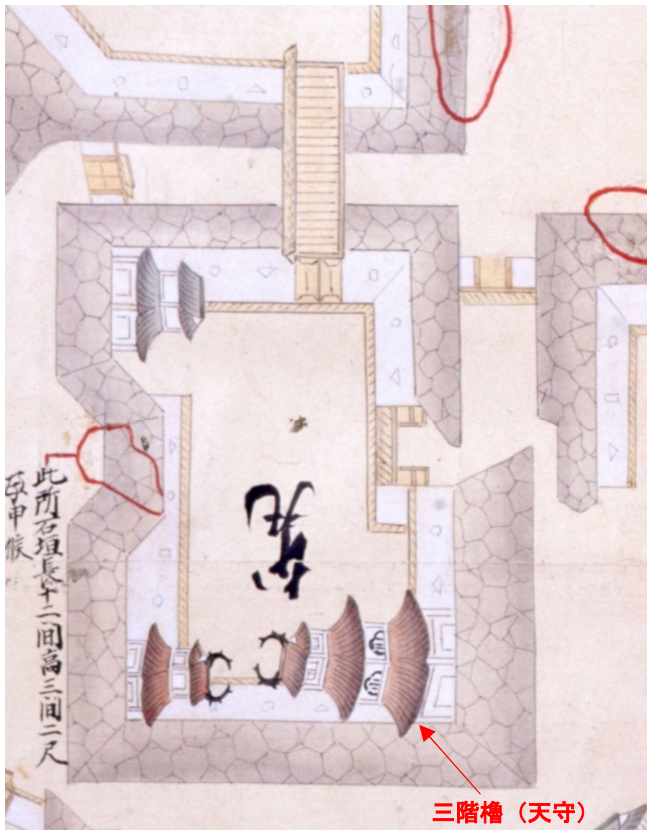
天守台 全景 (北東から撮影)



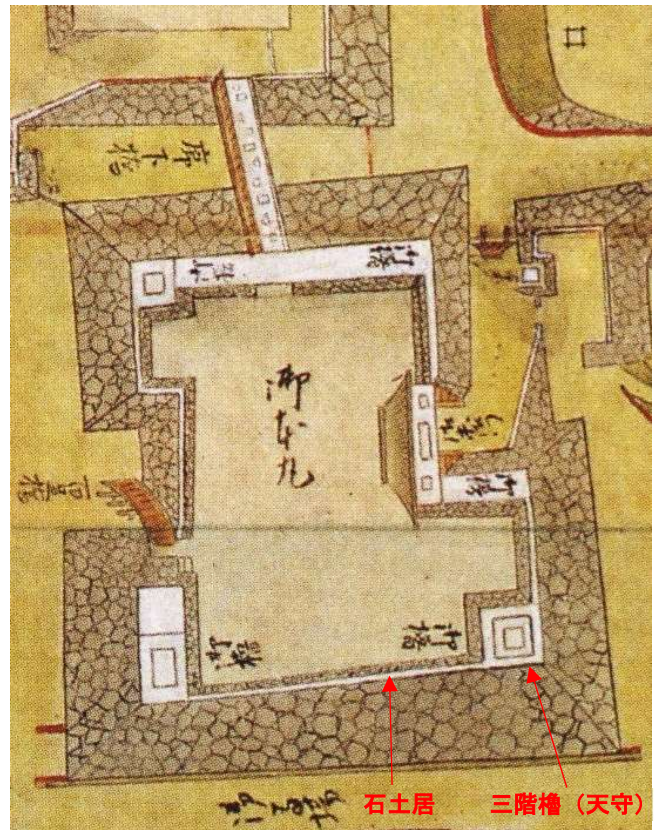
江戸期の石垣
明治期の石垣



第 40 次補足調査 全体図



元禄 16 年普請伺絵図
(もりおか歴史文化館所蔵)



明和三年書上盛岡城図
(もりおか歴史文化館所蔵)

延宝 4 年に再建された三階櫓が描かれています。屋根が赤く塗られており、赤瓦が使われたことが分かります。

用語解説

曲輪 (くるわ) 城の一区画のこと。堀や土塁などで区分された平場の総称

腰曲輪 (こしくらわ) 主要曲輪の側面に取りつくように帯状に配置された曲輪のこと。

天守 (てんしゅ) 城のランドマーク的高層建築物。城主の居住空間として使用された例は少ない。石垣などで造られた天守の基礎部分を天守台という。盛岡城には、いわゆる天守は存在しないが、天保年間以降、三階櫓を「御天守」と呼称するようになった。

石土居 (いしどい) 石垣より小規模な石塁・石土手



盛岡市 遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1
Tel. 019-635-6600 Fax. 019-635-6605
HP: <https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html>
E-Mail: iseki@city.morioka.iwate.jp